

特別講演会 英語を学ぶ意義とは～大学で使う英語を学ぶために～

1月30日(火)の放課後に、1・2年生の希望者を対象に京都大学総合人間学部教授・谷口一美先生による特別講演会を実施しました。生徒31名と保護者5名が参加しました。

まず、京都大学における英語に関する授業のカリキュラムが説明されました。大学の英語の授業は、中学校・高等学校の英語学習の延長線上であり、今の英語学習が大切であることが示されました。

次に、英語の4技能(話す・書く・読む・聴く)の関係性に話が及びました。それぞれが関係しあっていること、インプット(読む・聴く)とアウトプット(話す・書く)にはずれがあり、アウトプットするためにはインプットを多くしないといけないことが示されました。

さらに、英語の音声についてのお話もありました。実際に大学の授業で行われているオーバーラッピングを体験しました。その中で、英語の音声が変化することが示され、それによってリスニングを難しく感じている人が多いとのことでした。

最後に、英語学習の目標設定についてのお話がありました。近い将来にあるミクロな目標だけでなく、遠い将来にあるマクロな目標も念頭に置いて英語を学習するのが大切であるとのことでした。

講演後に行ったアンケートでは、「英語における4技能のつながりや本質について理解できたような気がします」「英文の同時読みは中学時代から続けていたので、その効果が分かり自信になりました」「実際に先生が行っている授業を体験できたので本当に楽しい講演会でした」「単語のつながりなどリスニングが上手くいかない理由がわかってよかった」などの意見がありました。

講演を聞いてこれからの英語学習をさらに意欲的に行っていこうと思った人が多かったようです。大変意義深い講演会となりました。

